

株式会社田村の環境行動計画

平成20年 月 日

取組方針

株式会社田村は、工場・倉庫、マンション、店舗ビル、個人住宅などの建設をお手伝いする総合建設業を営む会社です。創業以来90年の事業活動の中で、先輩たちが築き上げてきた歴史に、新しい私達の歴史を付け加え自信を持って後輩たちに受け継いでいけるような会社を目指しています。

そのような事業活動を進めていく上では、環境保全に取り組む姿勢を示すことも重要な課題の一つであることを強く認識し、地域社会との融和を図りながら住みよい社会を将来世代に伝えることに貢献しなければならないと考えます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくすることを目指し、以下の行動に取組みます。

- ① 省エネルギーと省資源（電力・紙使用量の節減、節水）
- ② 廃棄物の削減とリサイクル
- ③ 資源の有効な利用

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年 月 日

株式会社 田村

代表取締役 田村 俊樹

3 環境負荷の低減目標及び取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標1 二酸化炭素の総排出量を、2007年を基準として2010年までに15%削減する

取組1 (事務・営業部門での取組)

- ① 空調温度を冷房温度28度、暖房温度20度に設定する。
- ② 人のいない部屋の消灯、パソコンとコピー機の節電機能を活用する。
- ③ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。
- ④ アイドリングの防止と、無駄のないアクセル操作を心がける。
- ⑤ 車の空調温度を適正温度に設定する。

(現場での取組)

- ⑥ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等使用していない機械の電源を切る。
- ⑦ 現場事務所内での空調温度を適正温度に設定する。
- ⑧ 作業効率の改善により残業時間を少なくする。

目標2 廃棄物の排出量を、2007年を基準として2010年までに15%削減する

取組2 (事務・営業部門での取組)

- ① 廃棄物は、決められたごみ箱(可燃ごみ、不燃ごみ、コピー用紙、封筒、金属、ビン、廃プラスチック)に分別する。
- ② ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ③ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する。
- ④ 製品をできるだけ長期間使用する。

(現場での取組)

- ⑤ マニフェストの管理を徹底する。
- ⑥ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置場を整備する。
- ⑦ 新しい製品カタログを受け取る時は、旧版を引き取ってもらう。

目標3 コピー用紙の使用量を、2007年を基準として2010年までに15%削減する

- 取組3 ① 使用済み用紙の裏面を利用する。
② 書類、資料の電子データ化を進める。
③ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する。

目標4 水使用量を、2007年を基準として2010年までに15%削減する

- 取組4 ① 節水を呼びかける標語を掲示する。
② 使用量をこまめに点検する。

その他の取組

- ① 製品、材料、備品は決められた場所に返却する。
- ② 会社の備品は大切に扱う。
- ③ 何事にも社員全員が一丸となって頑張る。
- ④ 時間を大切に使う。

4 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、環境保全担当者を委員長とする環境活動委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。